



## 第 3 回 パワーチェアフットボールブロック選抜大会 大会規定

日本電動車椅子サッカー協会（以下、本協会）では、標記大会において本大会規定を適用する。

### ①競技規則

「パワーチェアフットボール競技規則 2009」を適用する。ただし、第 2 回 FIPFA ワールドカップ（以下、W 杯）へ出場する日本代表チームの実戦練習を兼ねた強化を図るため、W 杯で適用されるルールを一部含めた別紙に定める大会暫定ルールも適用する。

### ②試合形式

8 チームを 2 つのグループに分け予選リーグを行い、各グループ上位 2 位までのチームが各グループ同順位のチームが対戦する優勝決定戦・順位決定戦へ出場できる。グループ分けの抽選については事前に本協会・理事会から委任された 3 名以上の理事により抽選を実施する（7 月日本代表合宿予定）。

#### ■予選リーグ

予選リーグの試合時間、順位の決定方法は次の通りとする。

1. 20 分ハーフ、ハーフタイム 10 分とし、延長およびPK戦は行わない。
2. 勝ち3点、引分け1点、負け0点とし、勝ち点の多い順に順位を決定する。
3. 勝ち点と同じ場合は次の順に順位を決定する。①得失点差の大きさ、②総得点の多さ、③レッドカードの少なさ、④イエローカードの少なさ、⑤直接対決の結果、⑥抽選
4. グループAの日本代表チームとの対戦結果は、予選リーグの順位決定に反映させ、かつ予選リーグの順位から日本代表チームを除外しない（日本代表チームが順位決定戦に出場できないこともありうる）。

#### ■優勝決定戦・順位決定戦

優勝決定戦・順位決定戦の試合時間、勝者の決定方法は次の通りとする。

1. 20 分ハーフ、ハーフタイム 10 分とし、延長（5 分ハーフ）・PK戦を行う。PK戦は各チーム 12 回以内とし、5 回目以降はサドンデスでキック位置を 1.5m 延長した 5m 地点から行う。PK 戦が同点の場合は抽選とする。
2. 優勝決定戦・順位決定戦の対戦成績に基づく順位決定から日本代表チームを除外する。  
例 1. 優勝決定戦に日本代表チームが進出した場合、対戦結果にかかわらず対戦チームが 1 位となり、順位決定戦の勝者が 2 位となる。  
例 2. 順位決定戦に日本代表チームが進出した場合、優勝決定戦の勝者が優勝、敗者が準優勝となり、順位決定戦の対戦結果にかかわらず対戦チームが 3 位となる。

### ③スピードテスト・ポストスピードテスト

スピードテストおよびポストスピードテストは以下の方法で行う。

1. 1試合につき各選手は2回以内とし、前の試合のハーフタイム10分間の時間内に行う。
2. 大会エントリー時には各選手は2台以内の電動車椅子をエントリーすることができるが、1試合につき各選手は1台の電動車椅子のみ使用できる。
3. スピードテスト開始5分前までに試合準備を整え指定場所で待機する。
4. スピードテストの時間に間に合わなかった場合や10分間の時間内にスピードテストが完了しない場合であっても追加のスピードテストは行わない。
5. スピードテストに不合格であった選手は、たとえフットガードを外してもベンチ入りできない。
6. スピードテストに合格した選手は、次の試合開始まで指定場所で待機する。
4. 試合終了後にレフリーにより抽出された選手(各チーム2名以内)のポストスピードテストを行う。レフリーの判断により必要性を感じないチームは行わないが、日本代表チームは必ず行う。
5. ポストスピードテストに不合格であった選手は、次の試合に出場することができない(ベンチ入りも不可)。

※試合終了直後にレフリーが抽出した選手のスピードテストを行うことをポストスピードテストという。スピードテストの結果が制限速度の5%以内の上昇率であれば合格とする。

### ④カード累積(出場停止制度)

イエローカードおよびレッドカードの累積による以下の出場停止制度を導入する。標記大会期間中に罰則を受けた場合、そのカードは累積される。ただし、カードの累積は標記大会終了時にリセットされる。

1. イエローカード累積2枚： 次の試合の出場停止
2. イエローカード累積3枚： 次の試合から2試合の出場停止
3. イエローカード累積4枚： その大会の出場停止
4. イエローカード累積1枚+レッドカード1枚： その試合と次の試合の出場停止
5. レッドカード累積1枚+イエローカード1枚： 次の試合から2試合の出場停止
6. レッドカード累積2枚： その大会の出場停止
7. 悪質(スポーツマンシップに反する行為等)なレッドカード1枚： 裁定委員会による裁定(数試合の出場停止やその大会への出場停止等の裁定が審議される)

### ⑤裁定委員会

裁定委員会を以下の2名以上の委員により構成し、悪質な反則等標記大会に関するすべての大会関係者の処分について裁定を下すことができる。また、別紙に定めるフットガード装着規定の違反等も裁定委員会が裁定する権限を持つ。

■裁定委員会構成委員(2名以上)

1. 日本電動車椅子サッカー協会・会長
2. 標記大会委員長
3. 日本電動車椅子サッカー協会・審判委員会委員長

※1 会長が不在の場合、事前に理事から代理人を指名できる。

※2 大会委員長はその大会に選手及びチームスタッフとして出場できない。

### ⑥開・閉会式

標記大会に限り、開・閉会式への全員参加の義務を取りやめる。ただし、各ブロックの代表者もしくは代理人は必ず参加しなければならない。